

令和4年度 改善状況報告書

組織名	大学教育委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和3年1月	大学院改革の推進	大学改革・大学評価委員会	令和4年度以降の大学院将来ビジョンの策定及び大学院改革を更に推進する。	大学改革・大学評価委員会/大学教育委員会合同会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>「大学院改革推進室」を設置し、本学の大学院への進学者の増加、有為人材の輩出、研究力の向上等を図るため、本学の大学院における教育プログラムの改善、教育課程の再編及び社会ニーズ等を踏まえた新たな教育プログラムの開設等に関する具体的方策を策定している。また、大学院の教育プログラム評価の実施にあたり、大学院改革に資するものとなるよう、令和3年12月から翌3月にかけて、大学院における教育課程や学修成果の状況・課題などに関する「大学院改革のための教育プログラム実態調査」を行った。</p> <p>令和4年10月1日に設置された大学院教育支援機構を中心に大学院改革の基本方針（仮称）を検討することとし、令和5年3月10日に開催された大学改革・大学評価委員会及び大学教育委員会（合同会議）において、大学院改革に向けた基本方針が審議の結果承認された。</p>

<p>令和3年2月</p>	<p>NBAS の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の利用率の低さ ・システムの機能、利便性の見直し（カリキュラム変更への対応など） ・各学部における利用率を高めていくために、現状や機能等についての全学的な議論が必要である。 	<p>教育基本問題検討作業委員会、監事監査意見</p>	<p>・NBAS の活用に関して最も効果的なのは、各学部のカリキュラムにおいて、アセスメントシステムを活用した履修指導を組み込むことである。また、これを学位プログラム評価に活用することで、評価のためのデータ収集を効率的に実施することも可能となる。そのため、各学部のカリキュラムにおいて、NBAS の利活用を再検討いただくことが優先事項となる。</p> <p>・その上で、新しい教育プログラムの観点から必要な機能を再定義した上で、NBAS のバージョンアップ（リプレース）を進める。</p> <p>・全学教育 DX 化の推進と学習者本位実現のためのシステム運用をあわせて実行する。</p>	<p>教育基盤機構教学マネジメント部門</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>現行の学務情報システムをベースに履修登録時（学生自身が学修を設計する時）に利用可能な統合システムを構築した。具体的に実装する機能は、現 NBAS でも比較的利用されているアセスメント機能（学修の振り返りに使用）を移管した。</p> <p>今後、新しい教育プログラムの観点から、成績評価の可視化、単位取得状況と成績評価点数に応じたレベル表示、さらに、より発展的な機能として履修科目リコmend、学修履歴・成績・進捗状況の記録・確認（高校調査書から卒業後評価まで）、卒業生の記録参照（教学 IR による分析結果の提示）、オンライン・コラボレーション等により、個々の学生の問題意識にあった学修者本位の学びを実現するよう、新 NBAS を学務情報システムに実装した。また、今後、ディプロマサプレメントの導入について検討する。</p>
<p>令和3年2月</p>	<p>G コード科目の精選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教養教育」の体系性が十分に担保されていない。 ・管理運営上の問題として、約 1500 の科目数が適切であるか（供給過剰ではないか？似たような科目が開講されていないか？受講人数が少なすぎる科目を開講することが適切か？ 	<p>教育基本問題検討作業委員会、監事監査意見</p>	<p>教養教育の体系性は、メジャー・マイナー制としての教育課程整備の中で確保する。具体的には、ディシプリンベースの専門科目からなるパッケージ型マイナーの提供を進める。</p> <p>また、現行の開講科目について、受講者数を調べ、履修者数の少ない科目については、その理由を明らかにする。</p>	<p>教育基盤機構教学マネジメント部門</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>現行の開講科目の体系性を確認するため、55 種類ある分野ごとに科目数を調べた。G コード科目では開講されていない分野もあったが、メジャー・マイナー制においては教養教育に資するため他学部の専門科目の履修も促すことから、専門科目を含めた全体の科目数も調べた。そこでは、すべての</p>

	教員のエフォートを軽減できないか？時間割上の問題が生じているのではないか？等)		メジャー・マイナー制における教養教育という観点から、部会代表者・委員会会議（各部会）において検討する。			分野において一定の開講科目数があり、現状で特段支障のないことを確認した。 一方、受講者数が少ない授業科目について、次年度の授業科目開設にあたり、関係部局等に検討を依頼するなど、科目精選に資する取り組みのサイクルを回すこととした。
令和3年2月	「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」の制度の見直しが必要である。	大学教育委員会学生支援専門委員会	独立行政法人日本学生支援機構が実施する新たに創設された奨学金制度を踏まえて、「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」の給付目的、給付額、給付対象人数等を見直す。	大学教育委員会学生支援専門委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	本奨学金のこれまでの給付実績、受給学生へのアンケート結果、同等の奨学金制度がある他大学の状況、並びに、同専門委員会でのこれまでの検討内容を総合的に審議した結果、給付額（40万円）及び募集人員（50名）は現行制度を継続することとし、令和5年度募集時から、これまで総合型・学校推薦型選抜の募集（10名程度）と一般選抜（前期日程）の募集（40名程度）とに分けていた募集を統合し一括募集することとし、奨学生の採用人数が50人に満たない場合は、再募集を行う取扱いを新たに導入し、受験生からの申請の機会を増やすことの改善をした。
令和3年3月	語学教育担当教員の減少	教育・学生支援機構コモシリテラシーセンター	教育基盤機構未来教育開発部門と学系が協議し、全学教育の運営をも視野に入れた人事を進める必要がある。	教育基盤機構未来教育開発部門	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	初修外国語の今後の在り方について、検討を開始した。

令和4年3月	<p>ポストコロナの遠隔授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナの遠隔授業を継続するため、遠隔授業実施の定義等を定めた要項を制定し、遠隔授業の累積修得単位数等について検討する。 	大学教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナのオンライン授業を継続するため、遠隔授業の定義等を定めた要項を策定する。 ・授業形態の学生への提示について、シラバスにおいて提示する。 ・個々の学生ごとに遠隔授業科目の累積修得単位数を集計できるよう、学務情報システムの改修を行う。 	教育基盤機構教学マネジメント部門	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>ポストコロナのオンライン授業を継続するため、遠隔授業の定義等を定めた要項を制定した。</p> <p>授業形態の学生への提示について、シラバスにおいて提示した。</p> <p>令和5年度以降の遠隔授業（オンライン授業）科目の取り扱いを策定し、令和5年3月に教職員及び学生に通知した。また、当該取り扱いを踏まえ、学務情報システムの改修を行った。</p> <p>今後、個々の学生ごとに遠隔授業の累積修得単位数を集計できるよう、学務情報システムの改修を行う。</p>
令和4年3月	<p>メジャー・マイナー制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の副専攻プログラム(オナーズ型マイナー)について担当教員の自助努力と責任感に依拠するところが大きく、属人的であり大学組織としてのマイナー学修(多様な学び)の継続性が担保できていない。 ・学生はCAP制等の教育の実質化という制度面から履修科目数が制限されている。加えて、主専攻プログラム修了を重視した履修指導が行われている現状もある。 ・学生が主体的かつ積極的にマイナーを履修するに十分な学修支援体制ではない。 ・主専攻プログラムの履修要件やカリキュラム、時間割構成を含めた全学的視野での議論が必要である。 	知識集約型社会を支える人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャー・マイナー制を本格的に導入し、教育プログラムの体系化と学習者本位の学びを実現する。 ・本学の有する多様な専門領域を基盤として、全学に向けた「マイナー学修パッケージ」を提供することで、主専攻(メジャー)を学びながら、他分野を副専攻(マイナー)として学ぶプログラムを構築する。 <p>→ 主専攻+副専攻ではなく、1つの教育プログラム内にメジャーとマイナーの学修を含める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学部向けの分野横断を支援する授業科目を開設し、アカデミックコーディネーターにより指導を進めることで、学生一人一人の問題意識にあった分野横 	教育基盤機構未来教育開発部門	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>令和2年度に知識集約型社会を支える人材育成事業に応募・採択され、本格的なメジャー・マイナー制へと舵を切った。ここでいうマイナーとは卒業要件単位数(多くの学士課程は124単位)の中で、主専攻とは異なる分野の科目群から学生自身が体系的な学びを構成し、12単位以上を取得するものである。この教育プログラムは令和令和3年度から開始している。学生自身によるマイナー学修の構築が主眼であることから、事業経費によりアカデミックアドバイザー(履修指導のための教員)を配置し学生が利用できるマイナー学修の支援室を整備した。</p>

			<p>断型の学びを創生する、きめ細かな学修支援体制を整備する。</p> <p>・Gコード科目および各主専攻プログラムの専門科目を用いてマイナー学修を構成することにより、属人性を排し、マイナー学修の永続性を担保する。</p>			<p>令和3年7月には副専攻プログラム（オナーズ型マイナー）の継続に関する意向について調査を行った。また、各学部・全学組織に専門領域をベースとしたマイナーの提供について検討を依頼し、令和4年度はパッケージ型マイナーでは新規24，継続3，オナーズ型マイナーでは，継続14の開設となった。令和5年度は，パッケージ型マイナーでは新規2，継続27，オナーズ型マイナーでは，継続14の開設となった。</p> <p>引き続き，学内委員会において分野横断学修のプログラムの提供体制や履修指導について議論し，事業の全体設計の改善を図る。</p>
令和5年3月	教職課程の自己点検・自己評価について	大学教育委員会	教職課程における内部質保証及び自己点検・評価実施要項を制定する。	大学教育委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>教育職員免許法施行規則の一部改正により，教職課程を設置する大学は，教職課程を実施するためのカリキュラム等について自ら点検・評価を行い公表するものとされたことに伴い，必要な要項の制定を行った。</p>

組織名	大学改革・大学評価委員会
-----	--------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
平成 30年 3月	学位プログラム評価制度の点検・評価と改善	大学改革・大学評価委員会、「新潟大学における「学位プログラム評価」の基本枠組み」	「新潟大学における「学位プログラム評価」の基本枠組み」の「6. 制度の見直し」に従い、総合点検の実施翌年度以降、制度のあり方について、適宜見直しを行う。	大学改革・大学評価委員会 教育戦略統括室	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (今後検討予定)	令和3年10月に第1回目となる総合点検が完了した一方、11月より教育担当理事のもとで、本学の「学位プログラム」の概念を整理する検討が進められていることから、本整理が完了次第、第1回の総合点検と新たな学位プログラムの概念を踏まえた見直しを行う予定。
令和 3年 3月 ～	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度への対応	大学改革・大学評価委員会	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度が決定次第、「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」の改正等、内部質保証体制の見直しを検討する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度が決定されたことを受け、令和4年7月に、従来の「学部・研究科・研究所の現況報告」を廃止し、学部等の取組状況の確認は、「中期目標・中期計画進捗状況報告」と一体として実施することや、中期目標期間中間時点において、本学独自の「3年目終了時評価」を実施することなど、「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」の改正を行った。現在これに基づく内部質保証及び自己点検・評価を実施している。
令和 3年 8月	自然科学研究科において、令和元年度の入学定員充足率（入学定員に対する実入学者の割合）の過去4年間の平均が、大幅に不足している（0.7倍未満）。	現況分析結果（教育）	その主な原因を博士課程への理解不足とキャリアパスへの不安と分析し、以下の取組を実施する。 ・外部の就活・進学サポート機関とも連携したキャリアガイダンスの実施	自然科学研究科、 大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	左記の取組を進めているが、令和4年5月1日における自然科学研究科の入学定員充足率の過去4年間の平均は0.66倍であり、「大幅に不足している」と判断される0.7倍未満であった。

令和4年3月	一部の研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。	大学機関別認証評価評価結果	と、文部科学省の事業を活用したキャリアパス形成支援（令和3年度より）の実施 ・他の研究科と連携したプログラムの開設に加え、文理融合プログラム、ライフサイエンスに係るプログラムの開設を予定するなど、学生や社会にとって魅力あるプログラムの開設 ・学生による学生のための「学術研究の推進・進路開拓」を考える学生組織の整備を計画 ・JICA の研修員受入事業及び文部科学省のプログラムを活用した留学生受入の拡大、ダイバーシティを拡大するための特任助手任用事業の開始			(令和4年6月10日大学改革・大学評価委員会 資料3)
令和3年8月	現代社会文化研究科、自然科学研究科、保健学研究科において、令和元年度までの過去4年間の「標準修業年限×1.5」年内修了率が、相当程度低い（博士前期課程85%未満、博士後期課程70%未満）。	現況分析結果（教育）	標準修業年限以内に修了できるよう、研究進捗の定期的な把握と指導、修士論文や博士論文の作成に資する全学及び研究科独自の研究費支援または学会発表参加支援等を行う。	該当する研究科、 大学教育委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4年4月	新潟大学将来ビジョン2030の実現及び第4期中期目標・中期計画の達成に向けてより機能的な組織体制にする。		機構・本部の体制の見直しを行う。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年10月1日付けで、教育・学生支援機構、経営戦略本部教育戦略統括室、国際連携推進本部を「教育基盤機構」に再編、経営戦略本部大学院改革推進室とPhDリクルート室を「大学院教育支援機構」に再編、学術情報基盤機構を「DX推進機構」及び「学術資料運営機構」に再編、「未来ビジョン実現本部」の新設等を行った。

						令和5年4月1日付けで、教育基盤機構、研究推進機構（再編後は「研究統括機構」）、地域創生推進機構（再編後は「社会連携推進機構」）、経営戦略本部の内部組織を再編することを決定した。
令和4年4月	教職課程を実施するためのカリキュラム等について自ら点検・評価を行い公表すること	教育職員免許法施行規則の一部改正	教職課程における自己点検・評価の実施等を「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」に明文化する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年11月に「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」を改正し、教職課程委員会は、教職課程を有する各学部・研究科等と連携して、自己点検・評価を行うことを明文化した。
令和4年6月	第4期中期目標期間は、年度計画が廃止されますので、中期計画のKPIについてはその達成状況をしっかりと管理する必要があります。	令和3年度監事監査意見書	中期計画の進捗状況の管理に関して、毎年度指標の状況を確認する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	中期計画の進捗管理について、毎年度、当該年度の実施状況を文章により報告するだけでなく、指標の状況を確認することにより達成状況を把握することとした。
令和4年10月	大学評価に係る資料において、個人情報閲覧可能な状態であるおそれ	外部から、大学評価に係る資料について、個人情報の秘匿箇所を加工することにより個人情報が閲覧可能な状態となる場合がある旨の指摘	本学の資料を再確認する	評価センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	本学の関係資料を再確認し、同様の不備があったことが判明した。このため、公開停止やキャッシュデータの削除を行うとともに、該当の方々への謝罪を行った。また、全学への周知徹底等の再発防止策を実施した。
令和4年10月	点検及び評価の結果並びに認証評価の結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行うこと	大学設置基準の一部改正	「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」に、当然行うものとして明記していなかった認証評価の結果を踏まえた改善について明記する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年11月に「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」を改正し、認証評価の結果を踏まえ、改善・向上を図ることを明確化した。

組織名	国際交流委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
平成 27年 4月	学生の海外渡航時における安全・危機管理に関する全学的な体制整備が必要である。	監事監査意見	学生向けの海外渡航に係る安全管理教育を行い（H28年度から学生向け海外渡航前安全管理オリエンテーション開始済）、海外渡航情報の届け出及び海外旅行保険の加入について徹底する（H28年度から学研災付帯海外留学保険「付帯海学」導入済）とともに、海外において事件・事故等が発生した際の危機管理体制を整備する（H30年6月～危機管理サービスを導入済）。	留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	政府による海外渡航制限の段階的な緩和に合わせ、派遣留学に係る学内手続きを順次整理した。引き続き、アフターコロナを見据えた海外渡航に係る危機管理体制整備について検討する。
平成 29年 4月	留学生の就職支援体制が整備されていない。	外国人留学生からの意見	留学生向けに特化したキャリア支援体制を構築する。	留学センター キャリア・就職支援 オフィス 留学交流推進課 キャリア支援課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	金沢大学が主体となる「大学の国際化促進フォーラム形成支援事業」に参画し、取組事例について情報共有を行った。併せて、令和3年度に加盟した『留学生就職支援ネットワーク』の登録方法や活用方法の紹介を含む留学生就職ガイダンスを二か国語（日英）で実施し、留学生に対し日本の就職活動について情報提供を行った。引き続き、留学生へのキャリア支援体制整備について検討する。
令和 2年 4月	留学生のメンタルヘルスケア体制が整備されていない。	留学生受入れ教員及び留学生受入れ部局担当係からの意見 留学生からの相談	留学生向けに特化したメンタルヘルスケア体制を構築する。	留学センター 保健管理センター 留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	入国制限を含む政府のコロナ対応の緩和により留学生からコロナ関連の相談が激減したため、9月末で電話対応による相談窓口は終了としたが、引き続き外国籍の教員がメール等で多

						言語（日・英・中）によるきめ細やかな相談対応を行っている。また、保健管理センターにおいては、医師が相談を受ける際に翻訳機を用いて多言語対応が可能となっている。引き続き、留学生のメンタルヘルスケア体制の構築について検討する。
令和4年7月	留学生向け奨学金の情報案内について、英語表記が不十分である。	国際交流委員会専門委員会	本学に留学を希望する者が入学前に申請できる各種奨学金（国費大学推薦及び新潟大学基金）の募集要項において、英語版を作成する。	留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	国費大学推薦及び新潟大学基金による奨学金の情報案内の英語版を作成し、HPで公開した。

組織名	入学試験委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和3年1月	新学習指導要領に対応した入学試験の策定に関し、高等学校の現状を踏まえて検討してほしい。	高等学校からの意見	高大接続改革を考える会や高校訪問等で情報を収集し、令和7年度入試に向けた検討の一助としたうえで、本学の基本方針を策定し公表する。	教育基盤機構アドミッション部門 入学試験委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>令和3年10月に入学試験委員会のもとに、令和7年度入試について検討する入試検討専門委員会を設置し、各委員に対して、本学の方針案の策定について検討を依頼した。</p> <p>令和4年2月に高大接続改革を考える会(高等学校教諭11人参加)で、「情報」等新学習指導要領に関する各高等学校の対応状況を聴取し、意見交換を行った。</p> <p>令和4年7月に高等学校等からの意見も踏まえた本学の「令和7年度入学者選抜における教科「情報」の取扱いについて」を取りまとめ、入学試験委員会で承認のうえ、本学ホームページ上で公表した。</p> <p>令和4年12月に各学部の試験(大学入学共通テスト及び個別学力検査)で課す教科・科目及び配点、個別学力検査で課す教科・科目の出題範囲を取りまとめ、入学試験委員会で承認のうえ、本学ホームページ上で公表した。</p> <p>令和5年度には、過年度生に係る経過措置を検討し、公表する予定である。</p>

組織名	施設環境委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は 根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和 4年 3月	キャンパスマスタープラン 2022 (R4.3 承認) に基づく施設整備を推 進し、魅力あるキャンパスを形成す るため、実行計画の策定や管理体制 の構築が必要である。	施設環境委員会 施設整備推進専門委員会	新たな管理体制として「キャンパス整 備推進部会」を設置し、キャンパスマ スタープランに基づく施設整備の点 検や、デザインガイドライン及びアク シヨンプランの策定を行う。	施設環境委員会 施設整備推進専門委 員会 キャンパス整備推進 部会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	キャンパス整備推進部会を設置し (R4.4)、デザインガイドラインを策 定した(R4.7)。引き続き施設整備の点 検やアクションプランの策定を行う 予定である。

組織名	附属図書館委員会／学術情報部／学術情報管理課
-----	------------------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和3年7月	電子ジャーナルパッケージ “Springer”の包括契約再開を含め、全学経費で契約すべき電子ジャーナル類の検討を行うべく、学術情報基盤機構長名にて学内照会を実施する	役員ミーティング	「全学で包括契約すべき電子ジャーナル、データベース、ソフトウェアについて」(2021年7月19日役員ミーティング承認)を学内各部局に照会・集計し、執行部検討用資料として整理する。	学術情報部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下のとおり照会・集計等を行った。 ・2021年8月2日 部局長宛てに照会 ・2021年10月11日 集計結果を担当理事に報告、追加調査実施 ・2022年1月29日 役員ミーティングに報告・意見伺い ・2022年3月28日 役員ミーティングに報告
令和4年9月	令和6(2024)年以降の全学経費による電子ジャーナル選定方針及び選定案を策定する	電子ジャーナル検討専門委員会	電子ジャーナル検討専門委員会において、本学における教育・研究環境のあるべき姿を想定するとともに、利用状況等を鑑みたタイトルの選定案の検討を行い、得られた選定案を役員会に報告する。	学術情報部	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	・令和4年9月12日 役員ミーティングで、令和6年以降の選定方法等について、電子ジャーナル検討専門委員会で検討することを確認

組織名	附属図書館委員会／学術情報部／学術情報サービス課
-----	--------------------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和2年11月	コロナ禍におけるラーニング・commons等を活用した学習支援について	第3期中期計画【16】	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、学習会話、ラーニング・commonsのグループ学習室を閉鎖していたが、2020年11月から1名での発話を伴う学習目的に限り、グループ学習室の利用を再開している。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	図書館HP「グループ学習室(新型コロナウイルス感染症対策期間中の対応)」 https://www.lib.niigata-u.ac.jp/services/guides/group_study_st_covid19.html
令和4年7月	附属図書館旭町分館(医歯学図書館)における24時間学習室開設の要望	・医歯学図書館改修に関するアンケート(2019年)	国家試験等を控える学生が長時間勉強できるように、改修で整備された1階「24時間学習エリア」の利用を開始する。	附属図書館旭町分館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年7月19日夜間運用を開始 図書館HP「医歯学図書館24時間学習エリアの利用」 https://www.lib.niigata-u.ac.jp/services/guides/always_study_area_st.html
令和4年11月	附属図書館の掲示物がまちまちで不統一である。	附属図書館長了承事項(2022年6月16日)	館内掲示物のテンプレートを作成し、用紙サイズや掲示位置の高さを統一して視認性を高める。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年8月テンプレート検討開始 令和4年11月テンプレートを用いた斉一的な掲示を開始

組織名	情報基盤センター
-----	----------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和4年2月	無線 LAN サービスの改善が必要。 (現状、毎回認証および1分待ちが必要で、無通信状態10分で再認証が求められる。)	情報基盤センター運営委員会	既設の無線LANアクセスポイントに接続方式を追加して対応する。	情報基盤センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	使用する端末を1度登録することにより、当該端末は認証不要で無線LANが利用でき、かつ無通信状態でも切断されないサービスを開始した。
令和4年2月	サイバーセキュリティ対策の一環として、学生へのマルウェア対策ソフトウェアの提供が必要。	情報基盤センター運営委員会	マルウェア対策ソフトウェアの包括契約に、学生分を含めて締結する。	情報基盤センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	学生に、大学に持参予定のPC等1人1台として、マルウェア対策ソフトウェアの提供を開始した。R5年3月からは、台数制限なしとするサービスに拡充した。
令和4年2月	VPNサービスのセキュリティ対策強化と学生への提供が必要。	情報基盤センター運営委員会	セキュリティ対策の強化と併せて実施する。	情報基盤センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	多要素認証対応のソフトウェアを導入し、学生への提供も開始した。